

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	高槻市立療育園（医療型児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 3日		～ 令和7年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チームで子どもの発達に対するアセスメントが行えており、支援に必要な内容を充実させている。	会議を定期的に行い、支援内容の見直しや、今後の支援方針を決定している。	研修などに、より積極的に参加するよう促し、職員の知識・技量の向上を目指す。そして、より多様な支援を提供できるよう共有し、適宜フィードバックを行い質を向上させていく。
2	保護者との対話を大切にし、日々の悩みや、子どもの発達に対する助言等を適宜行っている。	保護者との関係性を良好に保つよう、日々の取り組みの中で会話の機会を積極的に設けている。職員が模範となるよう努力している。	個人への働きかけのみならず、全体的な保護者への支援について考えていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他機関や地域との連携や、交流の機会が少ない。	感染症予防等により機会が減少している。職員全体の地域での園の役割についての意識不足。	保育所や認定こども園など、連携・交流可能な施設との調整を行う。また利用者へも地域交流の必要性を伝えていく。他機関との情報の共有及び、職員間の周知。
2			
3			